新たなＭＩＣＥの在り方について提案した

道がＭＩＣＥオンライン商談会

アフターコロナの可能性探る

長期滞在で仕事や観光

道経済部は20日、京王プラザホテル札幌で北海道ＭＩＣＥオンライン商談会のオープニングイベントを開いた。北海道観光振興機構の小磯修二会長と北大大学院農学研究院の林美香子客員教授が対談し、アフターコロナにおける北海道ＭＩＣＥの可能性を探った。

道と札幌や旭川などの8市、北海道観光振興機構で構成する北海道ＭＩＣＥ誘致推進協議会が主催。例年、東京で開いていたが、新型コロナウイルス感染防止のためオンラインでの開催とした。

この日のオープニングイベントでは、小磯会長と林客員教授が対談。小磯会長は新型コロナウイルスの影響で働き方が変化したことで、これまで数日間の滞在だったＭＩＣＥの在り方が変わると説明。「新しいＭＩＣＥの形は、長期滞在しながらディスカッションや仕事をするもの」と話した。

自然や文化などを生かしたアドベンチャートラベルについて、消費効果が高く滞在日数が長いため本道観光の柱になると期待した。林客員教授は食や自然など本道の魅力もＰＲした。

8市にバイヤーが売り込む会議招致の商談会には18日までに国内外の23団体、119件の申請があり、2月2日までオンラインで開催している。